

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~1日	10月 ~8日	10月 ~15日
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	75	49	29	5	7	12
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	102	56	52	12	5	10
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	25	6	12	3	2	5
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	12	15	18	2	9	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	11	11	9	2	1	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第41週(10月9日~10月15日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5	2		1		1		1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	4	日本紅斑熱	3							3
		レジオネラ症	1							1
五類	5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1					
		梅毒	4					3		1

(注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

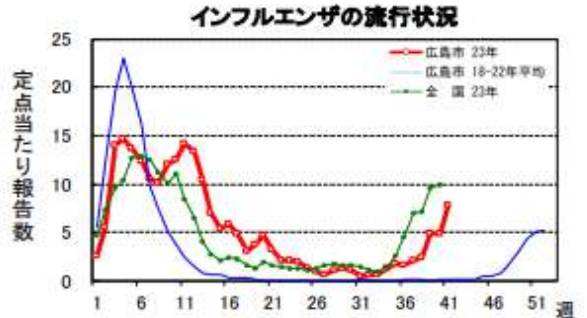
■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)
 定点当たり4.00人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばい
 です。手洗い、こまめな換気、効果的な場面でのマスク着用な
 ど、基本的な感染対策を徹底しましょう。

2 インフルエンザ
 定点当たり7.83人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しまし
 た。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が4件報告さ
 れています。手洗い、咳エチケット、換気などの感染予防対策
 を心がけましょう。

3 咽頭結膜熱
 定点当たり1.13人の報告があり、前週と比べて大きく増加し
 ました。咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、5～7日
 の潜伏期間の後、発熱、喉の痛み、結膜炎などの症状が出現
 します。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防
 を心がけましょう。

4 梅毒
 今年の累計は229件となり、非常に多い状況が続いています。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	増減		前週と比較しておおむね
												急増減	増減	
インフル	インフルエンザ	282	7.83	0.11	▲	小児科	ヘルパンギーナ	10	0.42	0.70	▼	急増減	▲	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	新型コロナ(COVID-19)	144	4.00		▶		流行性耳下腺炎	-	-	0.06		増減	▲	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.86		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	▶	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	27	1.13	0.23	▲		流行性角結膜炎	3	0.38	0.40		横ばい	▶	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.13	0.88	▶	基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-				
	感染性胃腸炎	53	2.21	2.80	▶		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	4	0.17	0.15			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17				
	手足口病	41	1.71	1.35	▼		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.12			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				
	突発性発しん	6	0.25	0.31										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	100	90歳代
5	梅毒	3	229	20歳代、30歳代、70歳代